

『思い出』

作詞・作曲 吉田賢 編曲 佐藤晃

渋谷に新宿横浜 六本木はたまにだったね あそこは電車が少し不便 自分達には合わないね
二人何様のつもりで はしゃぎ回って歩いてた一晩眠らず遊んでも 次の日仕事に行けた日々
生活の事はぼんやり 将来の事はうっすら あるのは甘い期待だけ 思い出しても恥ずかしい
今では二人は別々に 家庭を持って暮らしてる 会う事は二度とないけれど 笑って話せる歳かな

湘南 茅ヶ崎 逗子海岸 時間があれば横須賀 海を見るのが好きなどと 気取ったセリフが言えた時
二人はドラマの主人公 手を組み浜辺を歩いてる
あそこにおしゃれなレストラン ちょっと寄ってみようか
生活の事はぼんやり 将来の事はうっすら あるのは甘い期待だけ 思い出しても恥ずかしい
今では二人は別々に 家庭を持って暮らしてる
会う事は二度とないけれど 笑って話せる歳かな

別れた理由も ハッキリしない程 勢いだけで 一緒に居たんだね

今では二人は別々に 家庭を持ったか分からない 会う事は二度とないけれど
笑って話せる歳かな 笑って話せる歳かな